

# 茨曾根小C・S通信

## 第3回学校運営協議会報告



11.19 茨曾根小学校音楽室にて

### 【次第】

- 1 開会挨拶 関根会長
- 2 前期学校評価 平山校長、田巻教頭
- 3 教職員の任用 平山校長
- 4 後期、次年度への意見、要望
- 5 地域福祉アクションプラン 細河委員
- 6 閉会挨拶 栗田副会長

11名の委員の参加を得て、上記の内容で90分間にわたる熱心な協議が行われました。ここでは、**4つの視点**からその内容をお知らせします。なお、前期学校評価については、学校から文書により既に保護者・地域に公開されているとおりです。

### ① 自立を促す

◆当校児童の最大・最優先の課題である**自己肯定感**の育成には多方面からのアプローチが必要。自分の考えをなかなか表に出さない。目立つことはできるだけ避けようとする。これらは、子どもと学校だけの課題ではない。分析を進め、**保護者を含め地域全体**の課題として認識を深めたい。

### ② 多様な学びの保障

◆特別支援教育の推進課題「校内支援体制の整備が不十分なため、当該児童の実態に合わせた効果的な指導になっていない部分がある」について、次の意見が出された。

- ① 共生の意識のもと、「保」から「小」へと「**育ちの連続**」を保障してやりたい。

学校・地域の**願い**外壁の改修

## 地域とともに課題に挑む学校づくり

- ② 精通した職員の任用を望む。
- ③ 当校は区内唯一特別支援学級を持たない学校であるが、保護者・地域の理解を図りつつ、必要となったときには直ちに**設置**を求めたい。

### ③校舎外壁の改修

◆校舎外壁、特に**南・西面の劣化**が著しい。改修申請は、調査止まり、今年度の着工は見送られた。総工費108万円は、地域住民の『**心のふるさと**』の景観保全と安全対策の対価として、決して高過ぎる額ではない。当協議会としても粘り強く要望し続けたい。

### ④協働の要（かなめ）

◆**地域福祉アクションプラン**を地域と学校「協働」の要（かなめ）に。関係者の尽力により「茨曾根地域福祉アクションプラン」の改訂案が作成された。12月には公開となる。

右の画像は、そのプランに基づいて**試行**された事業のものである。

次の**4つ**を**目的**に実施された。

- ① 子育て支援
- ② 老人会「地域の茶の間」の活性化
- ③ 世代間交流
- ④ 地域の景観保全と安全対策

園児から80歳代まで、総勢40名を超える老若男女が集い、「**篠竹**てっぼう作り」と「**バス停丸太腰掛**作り」に挑戦し、「**カレー**昼食会」を楽しんだ。

今後の地域事業のモデルとなってくれることを願う。



11.15 下茨子どもの居場所づくり事業